

わたしの提言

○投稿内容：図書館について

図書館の建設について、アンケートをとったと思いますが、その結果の提示をお願いしたいです。

必要だと思う人、不必要だと思う人の割合が知りたいです。なぜ必要なのか、なぜ不必要なのか納得のいく提示をお願いします。

知り合いで、必要と考えている人が1人もいない中建設されるのは、どんな理由があるのか知りたいです。

(2024 年 4 月)

○回 答

図書館の建設についてのアンケート結果というお尋ねですが、平成 29 年度に大更駅前顔づくり施設の計画にあたって、市商工会が取りまとめた「大更駅前商店街再編調査事業報告書」にあります『市立図書館利用者アンケート調査』では、現図書館の立地場所について約 76%が「満足している」と回答しております。

しかしその一方で「市立図書館を移転する場合に重視すべきこと」の質問に対しては「今の場所でよい」と回答したのはわずかで、「駅の近くなど交通に便利な場所」「商店街などに近い買い物が便利な場所」「地域の交流や会合、サークル活動などに利用しやすい施設の増強」「子育て支援施設などを併設した施設としての整備」等を重視すべきという回答が多く寄せられておりました。

さらに同報告書では、懇談会による住民・事業者等の意見として、「病院や図書館など人が集まる施設が駅前に必要」「施設が老朽化し、西根バイパスができてから立地的に不便」「子育て施設等も入る複合施設とし、駅前に移転す

ることで学生の利便性が良くなる」といった意見が挙げられ、大更駅周辺の交流人口の拡大に向けた公共サービス等の大更駅前集約のため、市立図書館の移転の必要性が提案されたものです。

また、現図書館が隔年で実施しております『図書館利用者アンケート』では、書架スペース不足により蔵書数が限られていることから、各種図書資料の充実の項目については、毎回満足度が低い結果となっております。

これらのことから、図書館を大更駅前の複合施設内へ移転整備することにより蔵書数の充実が図られるとともに、交通手段を持たない子どもたちを含め市内外からの利便性が向上し、現図書館が抱える様々な課題を解決することができると考えております。加えて、施設内の子育て支援エリアや移住定住センターエリアとの連携や、新しい駅前商店街との相乗効果により図書館利用者の増加が見込まれ、「生涯学習の充実に資する読書活動の支援・機会の提供」がより推進されるものと期待しております。

今後も市民の皆さまのご意見に耳を傾けながら、広く市民に愛される図書館を建設してまいりたいと考えておりますのでご理解いただきますようお願いいたします。

(教育委員会事務局 教育総務課)

事業評価区分：E その他（問い合わせに対する回答）
